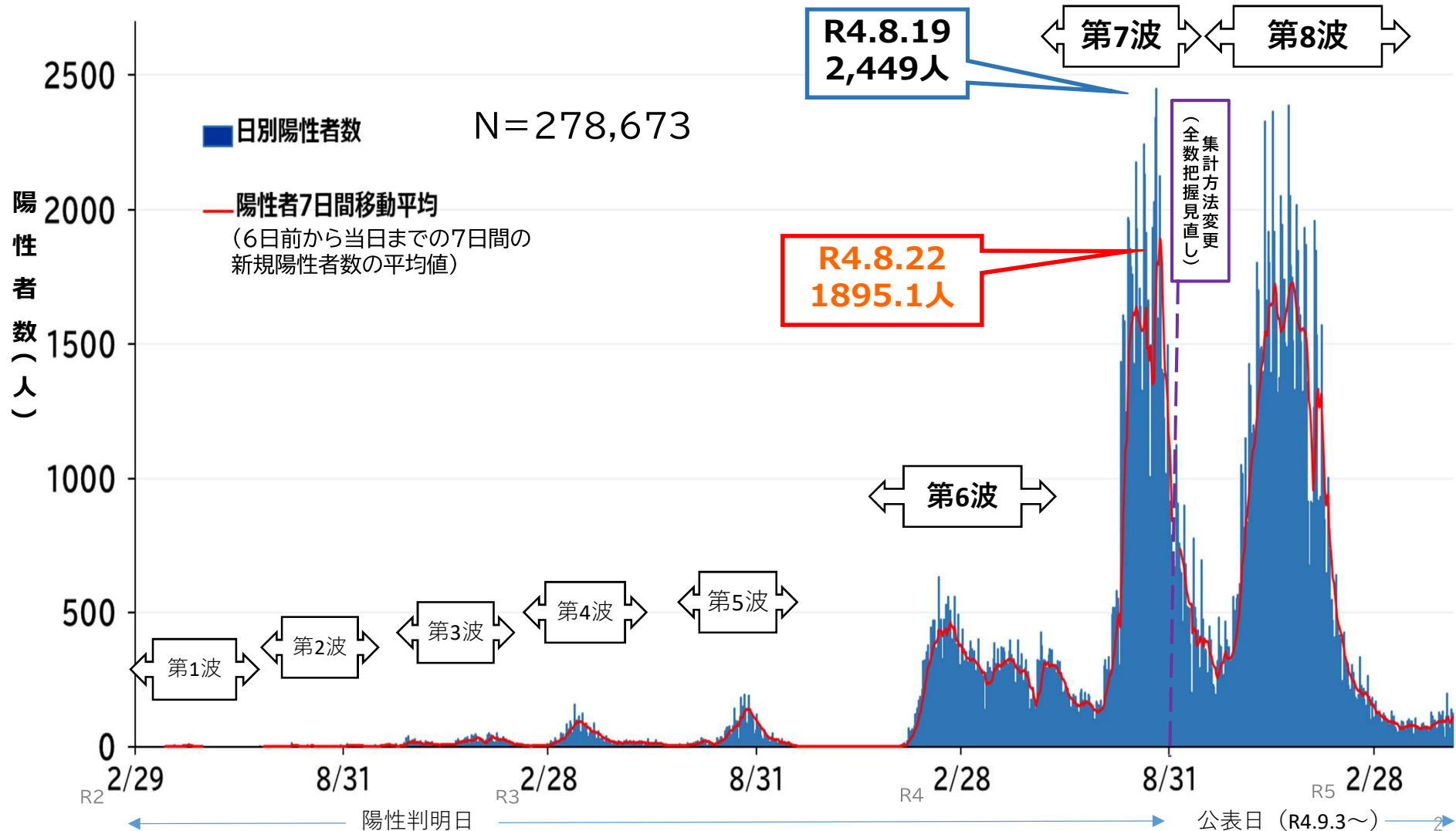


新型コロナウイルス 感染症の状況について

仙台市保健所
感染症対策室

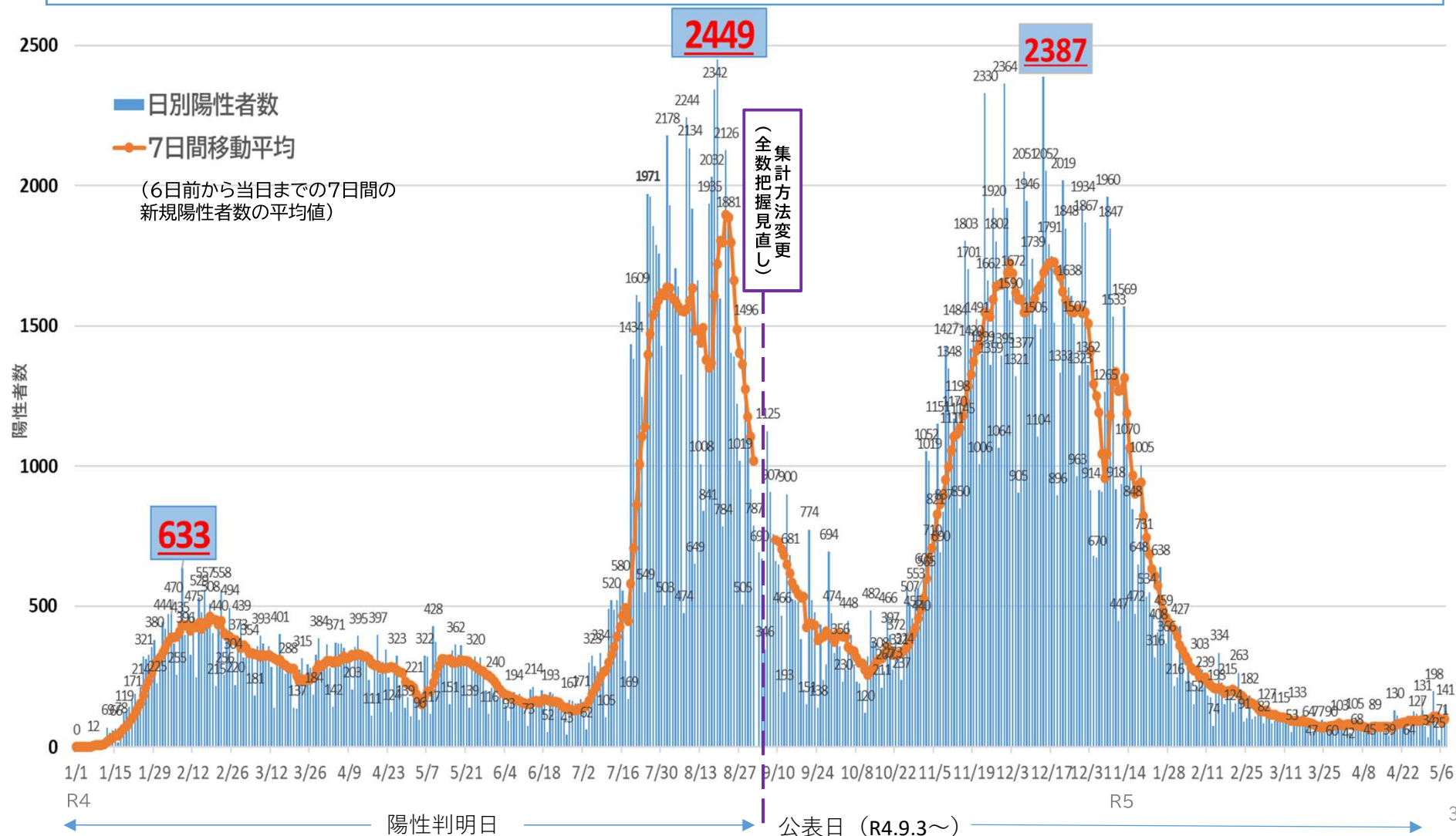
1. 仙台市の陽性者数と感染拡大期間（令和2年2月29日～令和5年5月7日）

- ・第5波までは感染拡大が2か月程度で収束したが、第6波以降は収束を待たずに次の感染拡大が始まった。
- ・第6波以降はオミクロン株への置き換えが進み、第7波、第8波の陽性者数は、これまでの感染拡大と一線を画すものであった。



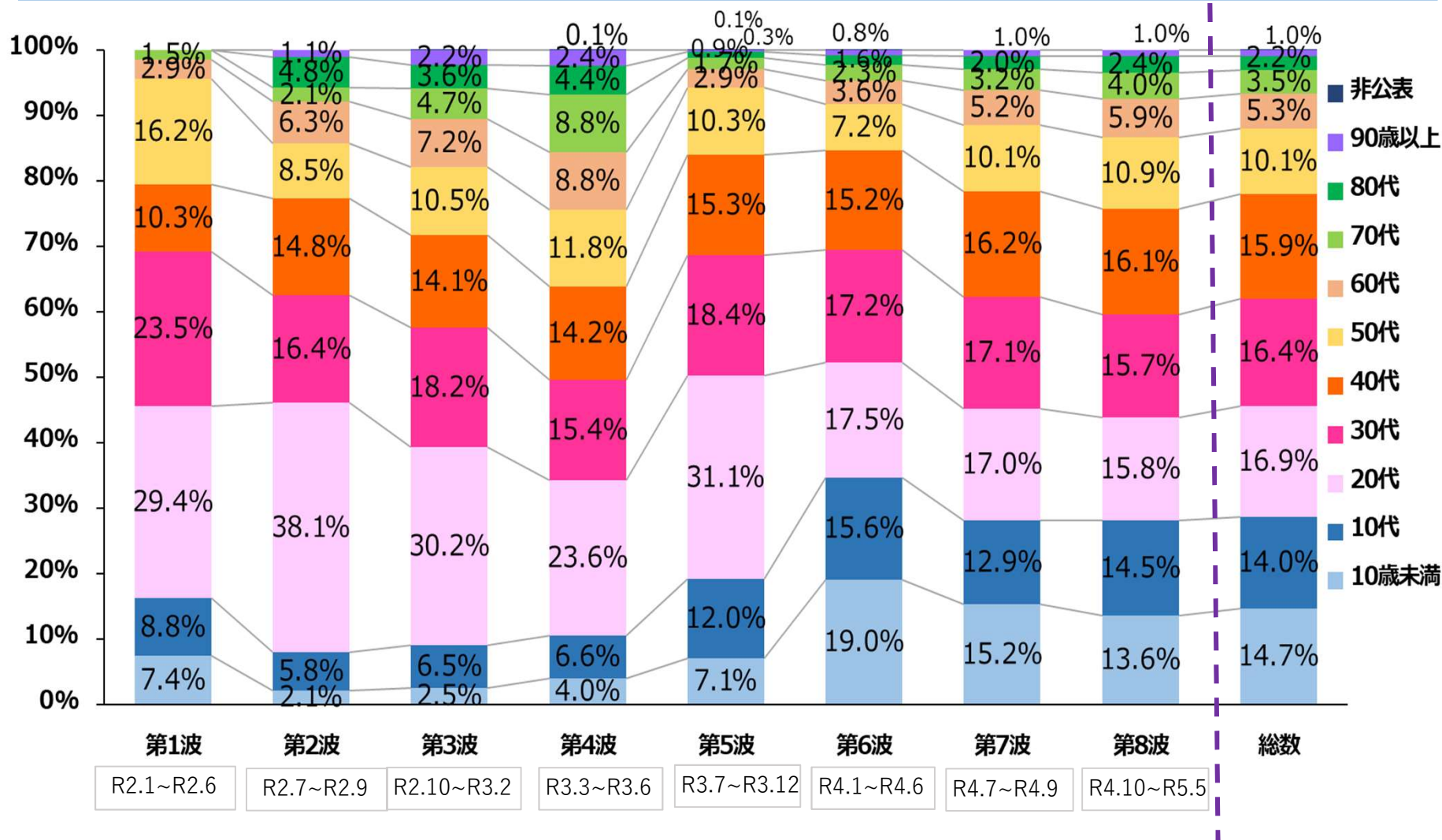
2. 陽性者の推移（第6波～第8波(令和4年1月1日以降)）

- 第6波では、令和4年2月8日の633人（陽性判明日別）、7日間移動平均は令和4年2月18日の463.1人が最大値であったが、第7波では令和4年8月19日の2,449人、7日間移動平均は令和4年8月22日の1895.1人と第6波～第8波の中で最大値となった。第8波では、令和4年12月14日2,387人、7日間移動平均は令和4年12月18日の1726.1人が最大値となった。



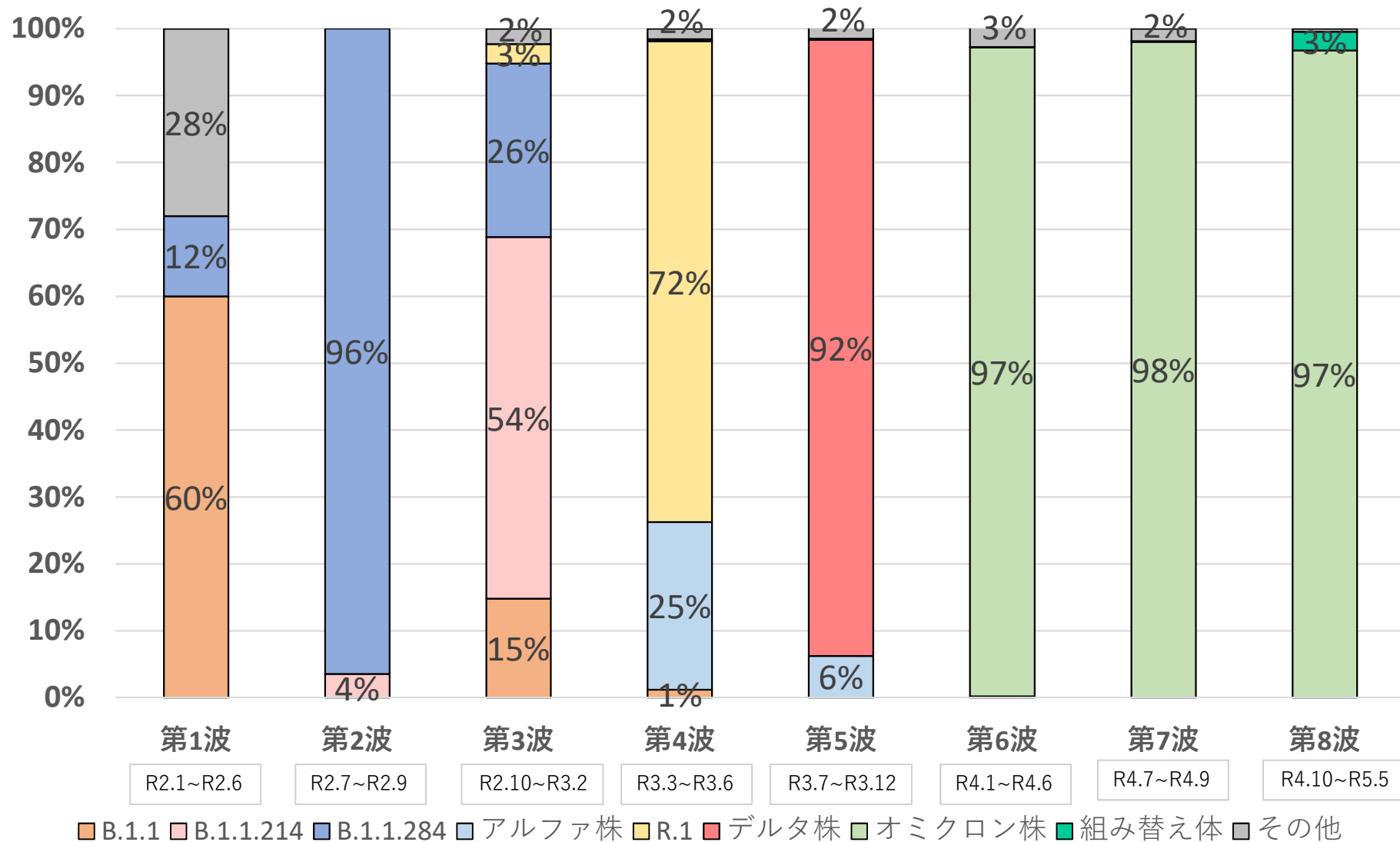
3. 陽性者の傾向_年代別割合（第1波～第8波） 令和2年2月29日～令和5年5月7日

- ・第1波から第5波までは、20代が陽性割合の約3割を占めており、第6波以降は10歳未満・10代の割合が高くなった。
- ・第6波以降は、10代から40代の割合が15%前後と総数と同程度の割合を示した。



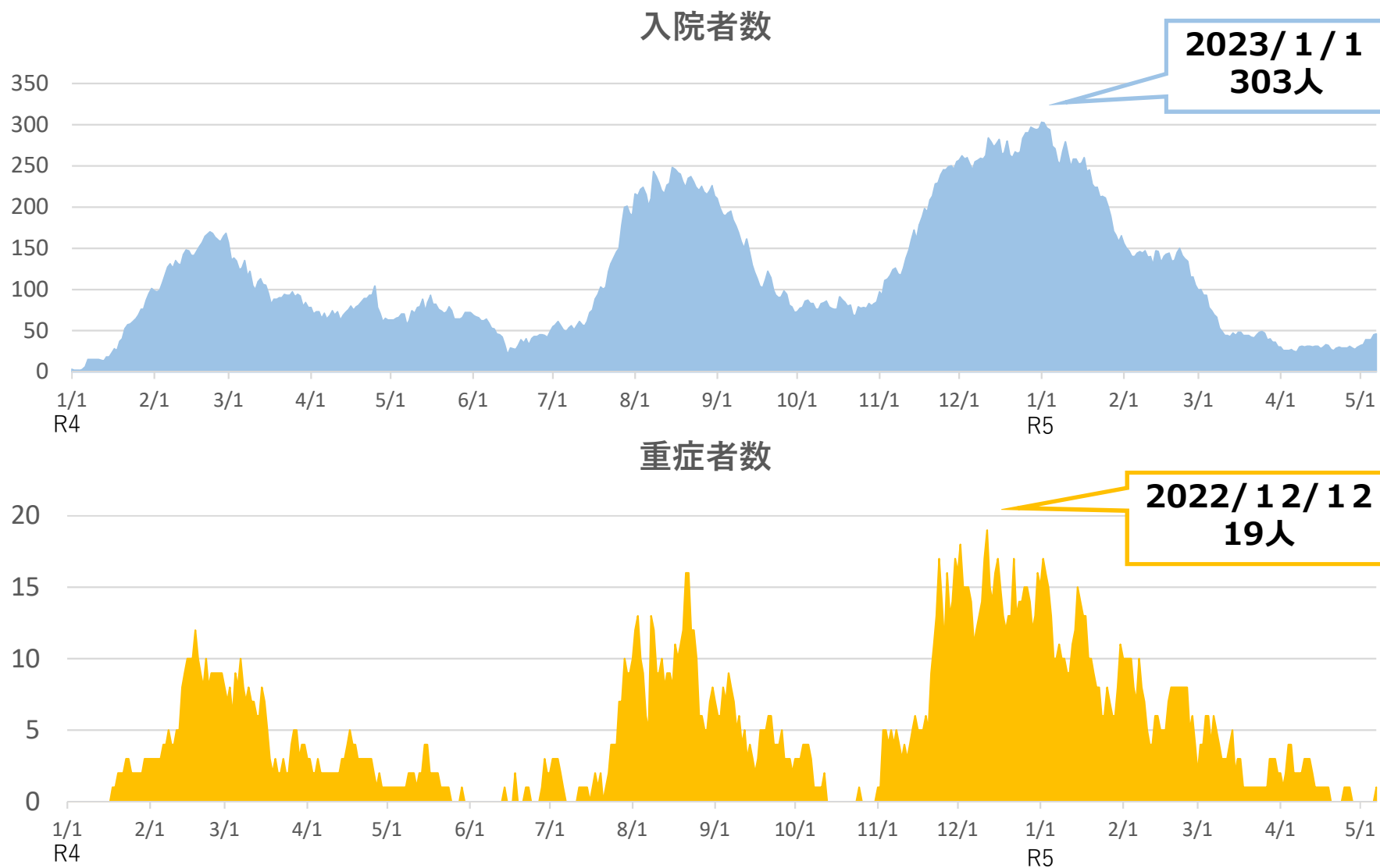
4. ゲノム解析変異株推移 (第1波~第8波)

- 第1波から第4波までは、B.1.1、B.1.1.214、B.1.1.284、R.1が全体の大部分を占めていた。
- 第5波ではデルタ株が90%以上を占めており、その後の第6波以降はオミクロン株へと置き換わった。現在もオミクロン株が主流株である。



5. 入院者数と重症者数の推移（第6波～第8波（令和4年1月1日以降））

- ・ 仙台市の入院者数は、令和5年1月上旬をピークに減少傾向となった。
- ・ 入院者数は令和5年5月7日時点で46名、重症者数は1名だった。



6. 5類移行後の感染状況

※衛生研究所
感染症発生動向調査情報(週報)より

- ・令和5年5月8日に5類感染症に移行し、定点把握に切り替わった。
- ・仙台市全体の報告数は、第26週（6月26日～7月2日）では5.98となり、緩やかな増加傾向を示している。

新型コロナウイルス感染症

(警報開始基準値— 警報終息基準値— 注意報基準値—)

